



令和5年度

仁比山っ子

神崎市立仁比山小学校

学校だより No. 31

令和5年6月19日

文責：校長 秋吉 洋志

5年生宿泊学習 さすが! の場面がたくさんありました

6月8日～9日、5年生は北山少年自然の家における1泊2日の宿泊学習に行ってきました。

到着後、野外炊飯のカレー作りに挑戦。自分だけで作ったことがある経験者もそれほど多くないとのこと(お手伝いは多くの児童がしています)。おまけにガスやIHでなく、薪を燃やす「かまど」です。調理場には屋根はあるものの、外は雨模様です。ちゃんとした昼食ができるか心配でしたが、活動をはじめたらその心配も吹き飛びました。グループで協力しておいしい昼食ができました。

夜はキャンドルの集い。グループごとに趣向を凝らした出し物を通して友情を深めました。

2日目は天気も回復し、北山湖の周りをフィールドビンゴ。地図をたよりにチェックポイントをめざします。チェックポイントの設問に回答しながら進むことで、グループの友達と協力したり自然に親しんだりすることができました。グループの中で意見が食い違ってぶつかり合う場面もあったようですが、これも勉強。

予定されたプログラムをやり遂げ、多くの学びがありました。充実した2日間となりました。



「ほいく」のススメ

ほいくといっても、「保育園」のほいくではありません。漢字で書くと「歩育」です。歩いて、「自然や社会に触れ、五感を開き体で学ぶ直接体験を通じて、子どもたちの豊かな心、生きる力を育てる」基礎教育であると言われています。

自動車は便利な移動手段です。危険性のある荒天、不審者、お子さんのケガや病気…子供の安全確保のための送迎が必要な場面は多々ありますが、平常時にはぜひ歩かせていただきたいと思えます。

安易に人に頼らず、自立を促すことにつながるという効果も期待できます。

【徒歩のメリット】

- ① 体力・脚力がつく
- ② 忍耐力・持久力が備わる
- ③ 挨拶・他者との交流
- ④ 感性が育つ(四季を感じる)
- ⑤ 始業前に脳を活性化



「日傘」のススメ



日差しが強くなり、気温もぐんぐん上昇しています。特に近年は高温になる日が増えました。熱中症が心配されます。

その対策として、傘を差しての登下校も有効といわれています。(雨傘でも効果あり)

個人差はありますが、「体感温度がこんなに違うとは」「今まで日傘を持つのは面倒だと思ってたけど、使ってみたらあまりの涼しさにビックリ!」という声が上がっているそうです。

登下校時の列が並びやすく、安全性が高まりやすいとの効果もあるようです(横にひろがりにくいため)。

子どもたちにも機会をとらえて呼びかけていきたいと思えます。

私(校長)も、これまでの人生、日傘を使ったことはほとんどありませんでしたが、これからは天候によっては日傘を利用してみたいと思います。

